

東光寺だより

節句のはなし

日本では現在五節句といい古代中国の陰陽五行説に由来し 季節の節目となる日をいいます。

1月7日(人日の節句)七草の節句 七草粥で祝う

3月3日(上巳の節句)桃の節句 ひな人形を飾る

5月5日(端午の節句)菖蒲の節句 菖蒲湯に入る

7月7日(七夕の節句)笹の節句 裁縫の上達を願う

9月9日(重陽の節句)菊の節句 菊をうかべた酒を飲む

5月5日は端午の節句で男の子の節句ともいわれ、五月人形、兜、鯉のぼりを立て、菖蒲湯にはいり、ちまきや、柏餅で祝う風習があります。



1948年に5月5日が子供の健やかな成長と幸福を願う「国民祭日の日」に制定されました。それ以後端午の節句即ちこどもの日と考える人がおおくようになったようです。



坐禅会への誘い

毎月15日早朝5時から行っています当山での坐禅会も数をかぞえること230回になりました。参加される方も一年の朝の変わり具合を楽しんでおられます。これからは境内で渡り鳥「サンコウチョウ」三光鳥のさえずりを聞くことができます。どうぞお越しく下さい。



サンコウチョウは雀ほどの大きさで、雄鳥の尾の一部が特に長く30センチほどもあります。鳴き声が月日星(つき ひ ほし)ほいほいほいと聞こえるところから三つの光の鳥 三光鳥の名がついています。四月下旬に南方から渡来し薄暗い山麓を好み巣を作ります。因みに東光寺では6月17日をサンコウチョウの日に指定しております。

この花をご存知ですか

皆さん5月から6月にかけて咲く紫色などの花をご存知でしたか 同じような花で見分けが困難です。菖蒲(さといも科) 花菖蒲(あやめ科) あやめ(あやめ科) かきつばた(あやめ科) いちはつ(あやめ科) 「しょうぶ」と「あやめ」どちらも菖蒲と書きます。 違いを教えてください。



令和5年5月1日 文責 東光寺住職 鷺見邦隆